

社会資本整備審議会 道路分科会

平成 26 年度 第 1 回中部地方小委員会

議事概要

1. 日 時 平成 27 年 3 月 2 日 (月) 18:00~19:20
2. 場 所 中部地方整備局 7 階 大会議室
3. 出席者
【委員】

いたや	あけみ	
板谷	明美	三重大学生物資源学研究科 准教授
うちだ	としひろ	
内田	俊宏	中京大学経済学部附属経済研究所 研究員
おおの	えいじ	
◎ 大野	栄治	名城大学都市情報学部 教授
おがわ	ひかる	
小川	光	名古屋大学大学院経済学部研究科 教授
なかむら	ひでき	
中村	英樹	名古屋大学大学院環境学研究科 教授
みずお	えり	
水尾	衣里	名城大学人間学部人間学研究科 教授

※敬称略、五十音順 ◎は委員長

4. 議 事

- 平成 27 年度新規事業候補箇所の新規事業採択時評価
- ・一般国道 1 号 東駿河湾環状道路 (沼津岡宮～愛鷹)
 - ・一般国道 19 号 瑞浪恵那道路 (瑞浪～恵那武並)

<委員からの主な意見>

【一般国道 1 号東駿河湾環状道路 (沼津岡宮～愛鷹)】

・昨年度、東駿河湾環状道路が開通し、伊豆や箱根に行く際の信頼性が上がった。対象区間に並行する国道 1 号でも信号が連旦しており渋滞などの課題が大きいいため早期に完成させることが重要。

・対象区間の整備だけでなく、残る区間の愛鷹～国道 1 号までを繋げることにより一体的なネットワークが形成されることが、防災上の観点からも重要。

・特に沼津駅南側から 1 号への南北アクセスが弱い事から、今回の東西ネットワークの強化に加え、沼津・三島都市圏の南北軸の強化が重要。

【一般国道 19 号瑞浪恵那道路 (瑞浪～恵那武並)】

・並行する国道 19 号は、物流交通と生活交通が混在しており、安全上も好ましくないことから、生活交通と物流交通の分担機能を有す対象区間の効果は大きい。

・リニアが開業となれば、本道路の効果は B/C に現れない効果として、非常に大きいものと考えられることから、残る恵那側の区間についても整備することが重要。

<結論>

- ・一般国道 1 号東駿河湾環状道路 (沼津岡宮～愛鷹)
 - ・一般国道 19 号瑞浪恵那道路 (瑞浪～恵那武並)
- の新規事業化については妥当である。